

記入例

所属する団体【必ず〇を付けてください】
所属団体への写しの回送【必ず〇を付けてください】

【 基準協会・建災防・陸災防・林災防・ボイラ・建荷協・未所属 】
【 回送しても差し支えない 2 回送を希望しない 】

令和8年度 安全衛生管理活動計画表 (建設業)

会社名及び代表者職氏名				所在地			電話	() -		
名 称 〇〇建設(株)				福井県 〇〇市 〇〇町2丁目 〇〇			労働者数	〇〇 名		
職氏名 代表取締役 〇〇〇〇										
労働災害発生状況	年別	区分	休業4日以上	休業1～3日	不休災害	計	安全衛生委員会	有 無 (法令の規定に準じたものを含む)		
	令和7年	自社	0	1	1	2	委員長職氏名	代表取締役 〇〇〇〇		
		下請	1	0	2	3	イ 安全管理者 □ 安全衛生推進者 (該当する記号に○)			
	令和6年	自社	0	0	3	3		職氏名 工事部長 〇〇〇〇		
		下請	1	0	1	2	衛生管理者職氏名	産業医又は嘱託医氏名		
	令和5年	自社	1	3	4	8		〇〇〇〇		
		下請	2	3	2	7	下請協力会	有 (構成事業場数 社) 無		
	メンタルヘルス対策の取り組み状況(該当するもの全てに○を付けてください) ア ストレスチェックや安全衛生委員会等における調査審議の実施 イ 事業場における実態の把握 ウ 「心の健康づくり計画」の策定 エ 事業場内メンタルヘルス推進担当者の選任 オ 教育研修の実施 カ その他の取り組みの実施							治療と仕事の両立支援・メンタルヘルス対策 治療と仕事の両立支援などの活動支援について、福井産業保健総合支援センターの利用を希望する場合は、右欄に○の記入をお願いします。 所轄の労働基準監督署に提出いただいた後、福井産業保健総合支援センターに写しが回送され、後日、衛生管理者等あてに、ご連絡します。		
自社労働者に、治療と仕事の両立支援(相談窓口の整備、両立支援プランの策定等)を行っている場合、右欄の疾病の種別に○の記入をお願いします。								がん、脳卒中疾患、糖尿病、肝炎、その他難病、メンタルヘルス		

トップの 基本方針	高所作業での墜落・転落災害防止対策の見直し、メンタルヘル ス対策の実施、転倒災害の撲滅	目 標	休業4日以上での労働災害ゼロ		
安全衛生上の課題 危険性・有害性等のある業務		墜落・転落防止対策が法定の対策まででとどまって、安全安心な作業現場とまではなっていない。 足場の組立・解体作業、高所作業(足場、法面)、重機近接作業、塗装作業(有機溶剤等)			
重点項目	実施事項	実施目標 (実施予定月)	実施上の留意点	実施責任者 担当者	評価
1 安全管理体制の確立・強化 各級管理者の選任・職務の明確化、安全衛生委員 会の定期開催、作業安全衛生規定の作成・見直し 等	安全管理者・衛生管理者の職務見 直し	5月	行うべき職務に不足がないかの確認 未実施となっている職務の有無の確認	社長	
2 安全衛生教育の計画的実施 雇入れ時(母国語や視聴覚教材の使用も含む)・技 能講習・特別教育(足場の組立て等の業務、ロープ 高所作業等)・職長・安全衛生責任者の能力向上教 育に準じた教育等	雇入れ時教育	4月及び随時	途中入社の労働者への確実な実施	工事部長	
	職長・安全衛生責任者の能力向上 教育に準じた教育	6月	職長教育修了。年経過者に能力向上教育実 施	工事部長	
3 安全衛生活動の強化 安全衛生協議会、安全施工サイクル、安全パトロー ル、KY活動、安全衛生標識の掲示(見える化(母国 語表示も含む))等	安全衛生協議会、 安全パトロール KY活動 安全衛生標識の掲示	毎月 毎月10日(社長) 毎日(各現場責任 者) 作業開始前(毎日) 常時	安全パトロール結果と前月指摘事項の改善状 況を安全衛生協議会で報告 標識は技能実習生でも容易に理解できるイラスト ・母国語表記	総務部長 社長 各現場責任者 各現場責任者 各現場責任者	
4 リスクアセスメント及び建設業労働安全衛生マネ ジメントシステム(COHSMS)の取組実施状況(特 に墜落・転落災害防止に係るもの)、実施予定等	足場組立・解体作業のリスクアセスメ ントの実施(見直し)	5月	足場組立・解体作業の危険性の低減措置が十 分であるか再確認	工事部長	
5 墜落・転落災害防止対策 法定に基づく墜落・転落防止措置の遵守、手すり・ 足場先行工法の導入、足場の「より安全な措置」の 実施、ハーネス型墜落防止の導入、原則として本足 場の使用等	法定に基づく措置の遵守 手すり・足場先行工法の導入 足場のより安全な措置の実施 ハーネス型墜落防止の導入等	毎日 4月、各現場開始時 4月、各現場開始時 5月、各現場開始時	中さん・下さん等の確実な設置 導入基準を定めて、各現場で導入 実施基準を定めて、各現場で導入 必要数の確保、使用基準を定めて各現場で確 実な使用	各現場責任者 工事部長、 各現場責任者	
6 高年齢労働者の安全と健康確保対策 の実施	身体機能の低下を補う設備・装置の 導入	5月	事業場内を点検して、改善可能な設備等の改 善の優先順位付け		総務部長 各現場責任者
7 転倒災害防止対策 設備管理面の対策、耐滑性安全靴の導入、転倒し にくい作業方法の検討・実践等	設備管理面の対策 耐滑性安全靴の導入	各現場開始時 4月、11月	段差等の解消、4S活動の継続実施 4月に安全靴一斉点検 11月に積雪・凍結での耐滑性も確認	各現場責任者 総務部長 各現場責任者	
	転倒しにくい作業方法の検討・実践	4月、各現場開始時			
8 熱中症対策 暑さ指数計の導入等 WBGT 値に基づく適切な作業 環境管理・作業管理等	熱中症防止教育 熱中症防止パトロール	4月 5月～9月の毎月 10日	全労働者に熱中症防止教育の実施 各現場の熱中症対策実施状況を確認	総務部長 社長	
9 作業を請け負わせる一人親方、下請 業者や同じ場所で作業を行う労働者以 外の人(資材搬入業者、警備員など)に 対する措置 一人親方等に対して行う作業方法や保護具の使用 の周知等、退避や立入禁止等の措置等	法改正について教育の実施 各現場における措置 一人親方等に対して行う作業方法や 保護具の使用の周知等、退避や立 入禁止等の措置等の実施	4月 各現場開始時(毎 日)	対象者に対する教育の実施、記録の作成 一人親方等の有無の確認、作業計画で使用機 器、保護具使用、立入禁止措置等の確認 日々現場で確認、パトロール時も確認	工事部長 各現場責任者	
10 化学物質管理 ラベル表示、SDS の交付、リスクアセスメント対象 物に対するリスクアセスメント等(建災防作成の「建 設業における化学物質取扱いリスク管理マニユー アル」の活用等)	ラベル表示、SDS の交付の点検	4月	ラベル表示、SDS の交付を確認	総務部長	
	化学物質管理者・保護具着用管理 責任者の選任	5月	リスクアセスメント対象物を取扱う場合等に必要 に応じて選任	総務部長	
	化学物質管理強調月間(化学物質 管理の点検)等	2月	化学物質管理者や保護具着用管理責任者の 職務遂行状況について確認	総務部長	
11 パワーハラスメント防止を含むメンタ ルヘルス対策 「心の健康づくり計画」の策定、事業場内メンタルヘ ルス担当者の選任、安全衛生委員会等での調査審 議、事業場における実態把握、教育研修の実施、ス トレスチェックの実施等	心の健康づくり計画の見直し 安全衛生委員会等での調査審議 事業場における実態把握 管理職教育の実施 ストレスチェックの実施等	5月 毎月 7月 6月 11月	見直し箇所の確認 分析結果に基づく職場環境の改善 無記名アンケートの実施 ラインによるケアの充実のため管理職に対し研 修を行う 結果に基づき面接指導の実施	総務部長 総務部長 総務部長 総務部長 産業医	
12 健康管理対策 雇入れ時、一般・特殊健診の実施、健康診断結果 の本人への通知、健診結果についての医師の意見 聴取、同意見に基づく事後措置の実施、健康づく り計画の策定等	雇入れ時・一般・特殊健診	4月、10月	実施日に欠勤の場合の予備日の設定	総務部長	
	健診結果の医師の意見聴取 医師の意見に基づく事後措置の実 施 健康づくり計画の策定等	実施翌月 5月、11月 5月	産業医から各意見の説明 産業医への必要な情報提供 健診結果に基づき見直しも実施	産業医 産業医 産業医、総務部長	
13 安全衛生関係行事 全国安全週間、全国労働衛生週間、年末年始労働 災害防止強調期間、化学物質管理強調月間等安全 大会その他安全衛生行事	全国安全週間 全国労働衛生週間 労働災害防止強調期間 安全大会 化学物質管理強調月間の取組	6月、7月 9月、10月 年末年始 7月 2月	安全週間に相互パトロール実施 労働衛生週間に産業医現場パトロール実施 冬季無災害運動も兼ねて実施 協力会社も参加要請 日常の化学物質管理の点検	工事部長 総務部長 工事部長 工事部長 工事部長	

(注) 評価は、目標に対する達成度により 良好○ 一部達成 △ 未達成 × を記入し、未達成等のものは改善策について検討し年度内の計画変更、次年度の計画樹立に役立ててください。